

スローガン 「笑」～原点回帰、新しい未来へ～

第54代理事長 山本 哲

はじめに

昨年、新型コロナウイルスのパンデミックが、我々の生活に甚大な影響を及ぼしました。現在においても完全に終息に至らず、生活、経済活動に制限をかけられている状況であります。それは青年会議所に対しても大きな影響を与えており、試行錯誤を繰り返しながら活動を展開しているのが現状です。しかし我々は歩みを止めることなく、明るい未来を見据え、生活、経済活動、そして青年会議所の活動を進めることが重要であります。

本年、御坊青年会議所は53年目を迎えることとなります。この永い歴史のなか、Jayceeとしての目標であります「明るい豊かな社会の実現」を軸に、様々な社会情勢に合わせ、変化しながら組織としての成長を続けてきたことで、今に至っております。こういう時だからこそ、諸先輩方から連綿と受け継がれてきた我々の活動を今一度見つめ直し、青年会議所としての在り方を再確認することにより、次の新しいステージへと向かっていけると確信しております。

青少年育成事業

子供たちの笑顔が見たい。そんな想いで私は青年会議所入会当初から活動を続けてきております。子供たちが元気で活発であるからこそ明るい未来を創造できるのではないのでしょうか。子供たちの笑顔があるからこそ地域全体が元気であり、魅力ある和歌山へ、さらには日本の元気へと波及していきます。子供たちの笑顔のために、我々が今何をすべきなのかをメンバー全員で考え、事業を構築していきます。

地域貢献

我々、御坊青年会議所は地域の皆様と共に成長し、地域の皆様のサポートがあり、成り立っていると考えます。新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令という未だかつてない状況もあり、日本全国に混乱が生じました。しかし今現在は新型コロナウイルスと共存することにシフトチェンジし、気を抜けない状況下にありますが生活や経済活動も以前の状況に戻りつつあります。我々の青年会議所活動も、その状況に応じて、明るい豊かな

地域を築き上げることを目標に今できることに最善を尽くし行動を起こします。

会員拡大

近年、御坊青年会議所は会員の拡大に目覚ましい功績を上げています。しかしながら昨年の新型コロナウイルスの影響や先々の状況を考えると、やはり会員拡大の歩みを止めることはできません。組織の発展、繁栄のためには会員拡大は必須であります。会員を拡大する上でも信頼関係を築くことが要となります。メンバーとも足並みを揃え呼吸を合わせることで、そして新しく受け入れるメンバーとの信頼関係をしっかりと構築し、社会情勢を踏まえ新しい切り口にて会員拡大に努めます。

青年会議所活動への積極的な参加

昨年、御坊青年会議所から和歌山ブロック協議会会長を輩出し、メンバーからも役員、委員会メンバーとして出向いたしました。新型コロナウイルスのパンデミックにより、思うように事業を展開できなかったとはいえ、素晴らしい成長の機会を与えられたのではないかと考えます。LOM事業への積極的な参加はもちろんのこと、和歌山ブロック協議会や、近畿地区協議会、さらには日本青年会議所事業への積極的な参加をすることにより、必ずメンバー個々の成長へとつながることをお約束いたします。

結びに

本年のスローガンとして「笑」～原点回帰、新しい未来へ～を掲げます。私の住む地元の秋祭りに「笑い祭」があります。笑う門には福来たる。今まさにこの様な時代だからこそ笑うということに重きを置き、メンバー個々が生き生きと青年会議所活動をすることにより、さらに魅力ある御坊青年会議所へと発展していきます。

今まさに未知の可能性を切り拓くときであります。今という時間を大切に、笑顔で1年間、メンバーの皆様と共に、そして地域の皆様と共に成長できる機会を共有していきます。

基本方針

1. 青少年育成事業の実施
2. 事業を通じた地域貢献
3. 会員拡大とメンバー間の情報の共有
4. 例会、事業、各種大会への積極的な参加と協力
5. 不測の事態に対応できる会議体の構築と事業の構築